

クリーンパークいずもについて (これまでの取組と現状、今後に向けた取組について)

1 これまでの取組

(1) 埋立処分場の状況

- ・県内から排出される廃棄物の適正処理と地域産業の振興に貢献するため、県内唯一の公共関与産業廃棄物最終処分場として整備

区分	管理型第1期	管理型第2期	管理型第3期	安定型処分場	全 体
供用開始	平成14年4月	平成19年11月	平成29年3月	(平成14年4月)	
埋立面積	31,900 m ²		39,800 m ²	40,400 m ²	112,100 m ²
埋立容量	740,000 m ³		*670,000 m ³	518,000 m ³	1,928,000 m ³

(2) 埋立状況

(*うち覆土60,000 m³)

- ・第1期、第2期：平成29年3月埋立終了
- ・第3期残余容量：310,000 m³ / 610,000 m³ (進捗率：令和3年度末49%)
 重量：412,300 t (310,000 m³*1.33 t)
 →単年度の受入重量 (目安) 58,900 t (=412,300 t / 7年 (R4~R10))
- ・第3期埋立状況(t)

H28(3.21~)	H29	H30	R1	R2	R3	計
2,655	68,220	87,366	79,982	70,898	64,347	373,468

2 現 状

- (1) 令和4年2月に受託量限度枠のお願い (直近1年に受入実績のあった排出事業者の方)
 - ・受託量実績をもとに個社ごとに受託量限度枠を通知
- (2) 減量要素 (見込み)
 - ・中間処理による廃棄物の減量化、その他廃棄物のリサイクルの推進

3 今後に向けた取組

- (1) 令和4年度受託量限度枠への柔軟な対応
 - ・新たに当センターから文書を発出
 (受託量変更申出の受付、今後数年の排出予定数量の調査等)
 - ・必要に応じて個社を訪問して状況確認等を実施
- (2) 管理型第4期産業廃棄物最終処分場整備に向けた状況
 - ・基本構想 (安定型処分場を管理型処分場として活用)
 - ・施設整備計画：埋立容量 518,000 m³
 埋立年数 7年~10年
 供用開始 令和11年度
 - ・令和4年3月25日から地元の自治会長会、自治会班長会等で説明を開始
 - ・地元自治会等の同意に向けた取組を推進

